

令和元年度全国病院事業管理者研修会を終えて

千葉県病院事業管理者 矢島 鉄也

令和元年の節目となる研修会は、5月25日(土)に「都道府県会館」(東京都千代田区)で開催されました。本研修会では、「**医介連携にどう取り組むか**」をテーマに、約100名の方が参加され、講演と活発な意見交換が行われました。

最初に、新任者オリエンテーションとして吉田茂昭会長が「病院事業管理者の権限と役割～何ができて何をなすべきか～」についてご講演がありました。初めて参加された方からは、病院事業管理者の役割が良く分かったと評価を頂きました。

医介連携にどう取り組むかについては、現場ではかなり問題になっておりますので、それをどうやっていくのかということで、行政の立場から、当時、厚生労働省で介護保険制度の制度設計に携わった、現在慶應大学病院教授をされております三浦元老健局長に、そもそもこの介護保険制度はどのような経緯でできたのか、医療との切り分け、制度創設の考え方、それから将来への期待ということでお話をいただきました。

具体的な内容は事前に参加者からいただいた以下の質問に沿って行われました。

介護保険制度はそもそもどのような目的(国として目指しているもの)で作られたのか、医療保険との違いをどのように考えられたのか。介護保険と医療保険の併用はしてはならないとあるが、それならば、介護保険が想定している適応範囲の中には生活支援のみならず、医療あるいは看取りに関わる部分も想定しておられるのか、そうでないならば、医療と介護の接点(あるいは境界)について、医療側としてどのように考えればよいのか。介護保険制度の運用の現状を踏まえて、その将来像をどのように考えているのか。医療機関にとっては、地域医療構想



「研修会風景」

の実現、特に医療連携(介護看取り)を推進する上で、従来の医療保険制度と共に介護保険制度についても理解が必要となっている。医療の現場では、その使い分けについて十分な理解がなされているとは思えない状況である。こういった部分については医療、こういう部分は介護、というような負担区分の考え方についてどのように考えればよいのか。実際に介護施設を運営している医療機関にあっても、医療側と介護側の連携はなかなか上手く行っていないという現状にあります。どのような連携の仕方が望ましいのか。介護の実際は生活支援ということからも広範囲にわたっており、しかも様々なケースがある。果たしてこれが介護なのだろうかというような場合も含めて「公助としての介護の範囲」をどう考えればよいのか。在宅介護サービスの提供施設等のうち、特に介護単独の小規模施設は経営が厳しい状況におかれている。そのため、要介護者へ

のサービスも劣悪な環境にある場合がある。サービスの質的及び量的充実を目指す必要があると考えるが、今後の見通しについてはどうか、と言った質問を踏まえたお話を伺うことができました。

次に、厚生労働省の現職の課長である眞鍋老人保健課長さんに、老人保健課は介護報酬をまさに担当している課でありますので、最新の介護保険の動向と医療連携のあり方、平成30年度の介護報酬改定の概要、消費税引き上げに伴う診療報酬・薬価改定、介護報酬における対応についてお話を伺うことができました。

午後の部は、医療の現場からということで、医療と介護の連携を現場ではどういうふうに行っているのかという話をさせていただきました。

最初は、千葉県立佐原病院では看護師が中心になって在宅医療・訪問看護をやっていて、地域の中でがん患者さんの緩和ケアや看取りに取り組んでいます。赤字の県立病院の中で、この訪問看護部門は唯一黒字が期待できる部門です。常に100人から120人の患者さんを地域で見ています。また、地域全体の訪問看護体制の底上げのため、地域の訪問看護師の教育研修も行っています。そういう取組を阿蒜上席看護師長さんに紹介いただきました。

二番目は、青森県の公立七戸病院院長の小野先生に、施設の中での看取りの現状から見えるものということで、医療と介護の連携の実態についてお話をいただきました。医療側から介護側へのアプローチが重要で、患者・家族が納得できるサービスを提供するためにも医療サイドから介護サイドへの超絶的と思われるくらいの親切なアプローチが必要とのお話には目から鱗が落ちました。

三番目には、具体的な地域のお話として、神奈川県三浦市における保健・医療・福祉の一体化について、三浦市立病院総病院長の小澤先生に医療・介護の実際についてお話をいただき、「顔の見える関係」をつくることの重要性をご指摘いただきました。

新たな経営モデルの登場では、介護医療院について日本介護医療院協会会長である鈴木先生に介護医療院の概要と将来についてお話をいただきました。今後、自治体病院でも介護医療院を併設する取り組みが期待されます。

支援体制の整備では、実際にやっておられる島根県立中央病院院長の小阪先生から、「まめネット」を利用した地域包括ケアの新しい試みについてお話をいただきました。続いて、ICT、パソコン、タブレットを使った情報共有システムについて京都大学名誉教授で一般社団法人電子連絡ノート協会理事長の野本先生にお話を伺い、将来の遠隔健康医療の可能性についても触れていただきました。

総括では、当協議会名誉会長の矢野先生に本研修会のテーマである医療と介護の連携について、まとめていただきました。

最後になりますが、ご講演をいただいた演者の皆さま、参加者の皆さま、事務局の皆さまに感謝申し上げます。

研修会終了後は、講師の方々との懇親会が行なわれ、なごやかな情報交換の場となりました。



「懇親会風景」

研修プログラム

1. 新任者オリエンテーション
「病院事業管理者の権限と役割 ～何ができて何をなすべきか～」
全国病院事業管理者協議会 会長 吉田 茂昭
2. 行政の立場から
「介護保険が目指すもの」
(医療との切り分けについて制度創設時の考え方と将来への期待)
元厚生労働省老健局長
慶應義塾大学病院 教授 三浦 公嗣
「最新の介護保険の動向と医療との連携のあり方について」
厚生労働省老健局老人保健課長 眞鍋 馨
3. 医療現場から (医介連携の実際)
「県立病院が取り組む訪問看護の実際と解決すべき課題」
千葉県立佐原病院 訪問看護ステーションさわら 上席看護師長 阿蒜ひろ子
「青森地域の施設での看取りの現状から見える 医介連携の実態」
公立七戸病院 院長 小野 正人
「三浦市における保健・医療・福祉の一体化について」
三浦市立病院 総病院長 小澤 幸弘
4. 新たな経営モデルの登場
「介護医療院の概要と未来」
日本介護医療院協会 会長 鈴木 龍太
5. 支援体制の整備
「医療・在宅・行政を結ぶ情報ネットワーク まめネット」
島根県立中央病院 院長 小阪 真二
「ICT を使った医療介護情報共有システムの効用」
京都大学名誉教授
一般社団法人電子連絡ノート協会 理事長 野本 慎一
6. 総括
全国病院事業管理者協議会 名誉会長 矢野 右人

私の信条②③

八幡平市立病院事業管理者
望月 泉



患者さんが手術を受けるときの覚悟は「この先生に命を預ける」であると思う。常に大胆かつ細心な手術に心がけ、小心で雑な手術は厳禁と戒めてきた。患者さんは自分の家族と思ひ手術、医の原点は人間愛である。また後進の指導に当たっては、腸管はできるかぎり愛護的に操作、吻合は切離からはじまる。腸管の血流・緊張に細心の注意。腹腔内ではすべて吸収糸を使用。異物は残さない。閉腹にあたっては徹底的に止血、洗浄する。凝血塊は腸管癒着の原因など話してきた。

院長になってからは、トップダウンとして明確で、短いフレーズで方向性を繰り返して語る。副院長、事務局長、部長クラスを味方につけ、代弁してもらおう。ボトムアップとして全診療科、全部門ヒアリングを実施、院内全職員から小グループを作り議論、院内発表会を行い現場からの改善活動につなげる。何かを実現しようとしたとき、できない理由はいくらかでもあげることができる。どうすればよいかとポジティブに考えていくことが大切だと常に思い、ことにあたってきた。職員満足度が向上しなければ患者満足度は上がらない。教育・研修は運営の柱である。(定年)退職時に、忙しかったけれど楽しく勤務できて幸せであったと思える病院を目指す。職員が自病院を愛して、motivation 高く楽しく働ける病院を目指すを心得とした。

会員の動向

令和元年8月現在で、全国病院事業管理者協議会の会員は、下記のとおりとなっています。

全国病院事業管理者協議会 会員団体名簿

網掛けは、今年度御入会いただいた会員です。

県 26団体

1	北海道	北海道	北海道道立病院局
2	青森県	青森県	青森県病院局
3	岩手県	岩手県	岩手県医療局
4	山形県	山形県	山形県病院事業局
5	福島県	福島県	福島県病院局
6	茨城県	茨城県	茨城県病院局
7	群馬県	群馬県	群馬県病院局
8	埼玉県	埼玉県	埼玉県病院局
9	千葉県	千葉県	千葉県病院局
10	新潟県	新潟県	新潟県病院局
11	静岡県	静岡県	静岡県立静岡がんセンター
12	愛知県	愛知県	愛知県病院事業庁
13	三重県	三重県	三重県病院事業庁
14	滋賀県	滋賀県	滋賀県病院事業庁
15	兵庫県	兵庫県	兵庫県病院局

16	鳥取県	鳥取県	鳥取県病院局
17	島根県	島根県	島根県病院局
18	広島県	広島県	広島県病院事業局
19	徳島県	徳島県	徳島県病院局
20	香川県	香川県	香川県病院局
21	愛媛県	愛媛県	愛媛県公営企業管理局
22	高知県	高知県	高知県公営企業局
23	大分県	大分県	大分県立病院
24	宮崎県	宮崎県	宮崎県病院局
25	鹿児島県	鹿児島県	鹿児島県立病院局
26	沖縄県	沖縄県	沖縄県病院事業局

政令市 8団体

27	北海道	札幌市	市立札幌病院
28	宮城県	仙台市	仙台市立病院
29	千葉県	千葉市	千葉市病院局
30	神奈川県	横浜市	横浜市医療局
31	神奈川県	川崎市	川崎市病院局
32	新潟県	新潟市	新潟市民病院
33	愛知県	名古屋市	名古屋市病院局
34	熊本県	熊本市	熊本市病院局

企業団 17団体

35	北海道	広域紋別病院企業団	広域紋別病院
36	青森県	つがる西北五広域連合	つがる総合病院
37	宮城県	みやぎ県南中核病院企業団	みやぎ県南中核病院
38	福島県	公立岩瀬病院企業団	公立岩瀬病院
39	千葉県	君津中央病院企業団	君津中央病院
40	千葉県	長生郡市広域市町村圏組合	公立長生病院
41	東京都	昭和病院企業団	公立昭和病院
42	静岡県	掛川市・袋井市病院企業団	中東遠総合医療センター
43	石川県	白山石川医療企業団	公立松任石川中央病院
44	長野県	伊南行政組合	昭和伊南総合病院
45	広島県	世羅中央病院企業団	公立世羅中央病院
46	香川県	三豊総合病院企業団	三豊総合病院
47	香川県	小豆島中央病院企業団	小豆島中央病院企業団
48	高知県	高知県・高知市病院企業団	高知医療センター
49	佐賀県	伊万里・有田地区医療福祉組合	伊万里有田共立病院
50	長崎県	長崎県病院企業団	長崎県病院企業団
51	熊本県	球磨郡公立多良木病院企業団	公立多良木病院

市町 110団体

52	北海道	小樽市	小樽市病院局
53	北海道	室蘭市	市立室蘭総合病院
54	北海道	旭川市	市立旭川病院
55	北海道	函館市	函館市病院局
56	北海道	松前町	松前町立松前病院
57	北海道	木古内町	木古内町国民健康保険病院
58	北海道	砂川市	砂川市立病院
59	北海道	中標津町	中標津町立中標津病院
60	北海道	根室市	市立根室病院
61	北海道	留萌市	留萌市立病院
62	北海道	名寄市	名寄市立総合病院
63	北海道	士別市	士別市立病院
64	青森県	八戸市	八戸市立市民病院
65	青森県	黒石市	黒石病院
66	青森県	十和田市	十和田市立中央病院
67	岩手県	盛岡市	盛岡市立病院
68	岩手県	奥州市	総合水沢病院
69	岩手県	八幡平市	八幡平市国民健康保険西根病院
70	宮城県	登米市	登米市医療局
71	宮城県	栗原市	栗原市病院事業
72	宮城県	大崎市	大崎市民病院
73	宮城県	塩竈市	塩竈市立病院
74	宮城県	涌谷町	涌谷町国民健康保険病院
75	秋田県	横手市	市立横手病院
76	秋田県	大館市	大館市立総合病院
77	福島県	いわき市	いわき市医療センター
78	山形県	鶴岡市	鶴岡市立荘内病院
79	山形県	山形市	山形市立病院済生館
80	山形県	寒河江市	寒河江市立病院
81	茨城県	北茨城市	北茨城市民病院
82	埼玉県	春日部市	春日部市立医療センター
83	埼玉県	川口市	川口市立医療センター
84	埼玉県	草加市	草加市立病院
85	千葉県	松戸市	松戸市立総合医療センター
86	東京都	町田市	町田市民病院
87	神奈川県	平塚市	平塚市民病院
88	神奈川県	三浦市	三浦市立病院
89	神奈川県	厚木市	厚木市立病院
90	富山県	富山市	富山市民病院
91	石川県	金沢市	金沢市立病院
92	石川県	七尾市	公立能登総合病院
93	石川県	加賀市	加賀市医療センター
94	長野県	岡谷市	岡谷市民病院
95	長野県	大町市	市立大町総合病院
96	静岡県	焼津市	焼津市立総合病院
97	静岡県	藤枝市	藤枝市立総合病院
98	愛知県	一宮市	一宮市立市民病院
99	愛知県	豊川市	豊川市民病院

100	愛知県	小牧市	小牧市民病院
101	愛知県	みよし市	みよし市民病院
102	愛知県	稲沢市	稲沢市民病院
103	愛知県	常滑市	常滑市民病院
104	三重県	四日市市	市立四日市病院
105	三重県	伊勢市	市立伊勢総合病院
106	滋賀県	近江八幡市	近江八幡市立総合医療センター
107	滋賀県	長浜市	市立長浜病院
108	滋賀県	高島市	高島市民病院
109	京都府	福知山市	市立福知山市民病院
110	京都府	亀岡市	亀岡市立病院
111	大阪府	池田市	市立池田病院
112	大阪府	八尾市	八尾市立病院
113	大阪府	箕面市	箕面市立病院
114	大阪府	豊中市	市立豊中病院
115	大阪府	貝塚市	市立貝塚病院
116	兵庫県	芦屋市	市立芦屋病院
117	兵庫県	伊丹市	市立伊丹病院
118	兵庫県	宝塚市	宝塚市立病院
119	兵庫県	高砂市	高砂市民病院
120	兵庫県	加西市	市立加西病院
121	兵庫県	西宮市	西宮市立中央病院
122	和歌山県	海南市	海南医療センター
123	和歌山県	橋本市	橋本市民病院
124	和歌山県	串本町	くしもと町立病院
125	鳥取県	鳥取市	鳥取市立病院
126	鳥取県	南部町	国保西伯病院
127	鳥取県	日南町	日南病院
128	島根県	松江市	松江市立病院
129	島根県	出雲市	出雲市立総合医療センター
130	島根県	安来市	安来市立病院
131	島根県	雲南市	雲南市立病院
132	島根県	大田市	大田市立病院
133	岡山県	笠岡市	笠岡市立市民病院
134	岡山県	瀬戸内市	瀬戸内市民病院
135	岡山県	井原市	井原市立井原市民病院
136	広島県	尾道市	尾道市病院事業局
137	広島県	庄原市	庄原市立西城市民病院
138	広島県	安芸太田町	安芸太田病院
139	広島県	福山市	福山市民病院
140	山口県	光市	光市病院局
141	山口県	美祢市	美祢市病院事業局
142	山口県	山陽小野田市	山陽小野田市病院局
143	山口県	周防大島町	周防大島町病院事業局
144	徳島県	徳島市	徳島市民病院
145	徳島県	つるぎ町	つるぎ町立半田病院
146	香川県	高松市	高松市立みんなの病院
147	香川県	さぬき市	さぬき市民病院
148	愛媛県	宇和島市	宇和島市病院局

149	福岡県	田川市	田川市立病院
150	長崎県	平戸市	平戸市民病院
151	熊本県	荒尾市	荒尾市民病院
152	熊本県	上天草市	上天草総合病院
153	熊本県	天草市	天草市病院
154	熊本県	水俣市	国保水俣市立総合医療センター
155	大分県	豊後大野市	豊後大野市民病院
156	大分県	杵築市	杵築市立山香病院
157	大分県	中津市	中津市立中津市民病院
158	宮崎県	小林市	小林市立病院
159	鹿児島県	鹿児島市	鹿児島市立病院
160	鹿児島県	出水市	出水総合医療センター
161	鹿児島県	枕崎市	枕崎市立病院

指定管理 1 団体

164	大阪府	和泉市	和泉市病院経営管理課
-----	-----	-----	------------